

早瀬裕也：アラサウトウヒレン（キク科）の新産地

富山県中央植物園

Yuya HAYASE: New Record for *Saussurea yanagitae* (Asteraceae)

Botanic Gardens of Toyama, 42, Kamikutsuwada, Fuchu-machi, Toyama, 939-2713 JAPAN

E-mail: hayase@bgtym.org

(Accepted on April 29, 2021)

Summary: *Saussurea yanagitae* Kadota (Asteraceae) has been found in Mt. Onigatsura, Niigata Prefecture, Honshu, Japan. This new locality was found by identifying voucher specimens from the Niigata City Herbarium. Mt. Onigatsura is the second locality of *S. yanagitae*.

アラサウトウヒレン *Saussurea yanagitae* Kadota は Kadota (2013) により新種記載されたキク科トウヒレン属の多年草で、高山帯の崖から懸垂して生え、ヤハズトウヒレン *S. sagitta* Franch. に比べて頭花がより密集して付き、総苞がより小さく、総苞片にくも毛を生じる点で区別される (Kadota 2013, 門田 2017)。新種記載の際に引用されたのは新潟県魚沼市荒沢岳前岳で採集された正基準標本の 1 点のみ (TNS1168501) だが、記載論文に引用は無いものの、副基準標本が存在する (TNS1168502)。分布については荒沢岳のみが知られていた。門田 (2017) は「越後山脈の荒沢岳周辺には岩壁を擁する山岳が多いため、荒沢岳以外でも見出される可能性がある」と、本種の分布について述べている。

筆者はこれまでに新潟県産のヤハズトウヒレンとして同定されていた標本について、2020 年 1 月 20 日に新潟市立総合教育センター植物資料室 (Niigata City Herbarium) 収蔵の標本の調査を行う機会を得た。同資料室の標本は台紙に貼り付けられておらず、更紙に台紙とともに直接標本が挟まれ、ラベルが付されたカバーに同産地の複数標本が挟み込まれる形で保管されていた。調査の結果、1970 年に荒沢岳で、1971 年に新潟県魚沼市 (旧入広瀬村) の鬼ヶ面山で、いずれも故池上義信 (Y. Ikegami) 氏によって採集され、ヤハズトウヒレ

ンのラベルが付された標本がそれぞれ見出された。これらの標本はいずれも、上述の形態的特徴から、アラサウトウヒレンであると同定された。このうち鬼ヶ面山は、荒沢岳に次ぐ本種の 2 か所目の産地となる (Figs. 1, 2)。池上氏の調査研究の記録については、池上 (2006) に詳しい。これによると、1970 年 8 月 26 日の標本は同 25 日からの植物同好じねんじょ会の荒沢岳植物調査会の際に、1971 年 8 月 24 日の標本は、同 21 日からの新潟大学理学部植物調査の際にそれぞれ採集されたものようである。1970 年 8 月 26 日の調査範囲については「荒沢岳 (くさり場まで)」と記述があることから、アラサウトウヒレンの基準標本が採取された前岳付近までの調査と考えられ、基準産地の近傍で採取されたものと思われる (Fig. 2)。

鬼ヶ面山およびその登山道周辺は福島県只見町との県境に位置し、稜線は北方の浅草岳に連続しており、東側は比高 300 ~ 700 m の集塊岩質の岩壁となっている (只見町史編さん委員会 2001; Figs. 2, 3)。自生環境及び地理的位置について、門田 (2017) が言及した通りの場所に産することが判明した。また、只見町史資料集 第 4 集 会津只見の自然 植物編 (只見町史編さん委員会 2001) によると、鬼ヶ面山の福島県側である只見町の植物目録の中にヤハズトウヒレン *S. sagitta* Franch. の記述があり、分布として鬼ヶ面山と会津朝日岳が挙げられている。このうち、会津朝日岳のものは、1997 年 8 月 18 日に撮影された頭花の写真がヤハズトウヒレンとして掲載されているが、総苞は全体に黒みを帯び、総苞片の先端が圧着せずに開出していることから、シラネアザミ *S. nikoensis* Franch. & Sav. とみられる。鬼ヶ面山にヤハズトウヒレンが

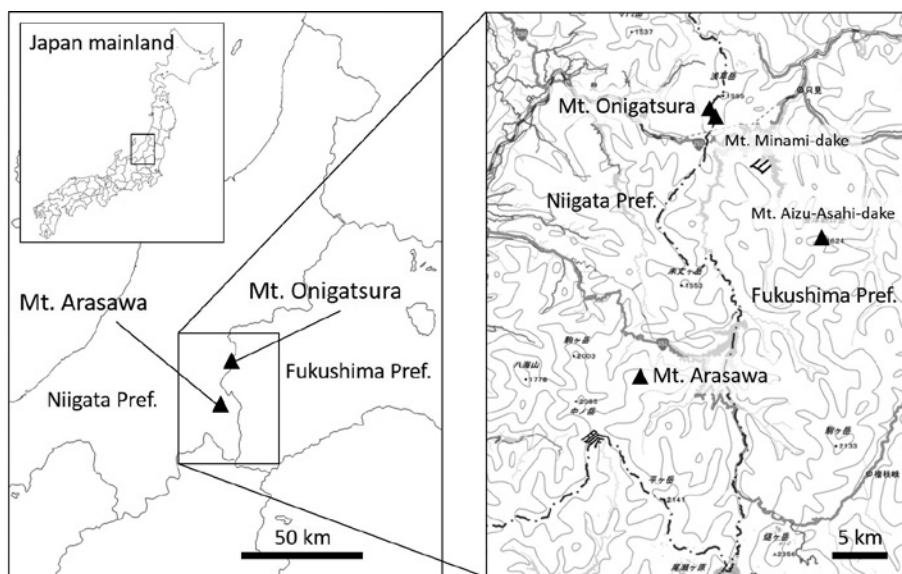


Fig. 2. Location of mountains referred to in this paper. Inset map (right panel) created by author using GSI Maps (<http://maps.gsi.go.jp>).

アラサトウヒレンと共に分布している可能性が否定できないことに加え、池上義氏採集の標本から、福島県只見町側にもアラサトウヒレンが分布している可能性が高いと考えられた。これらの確認のため、2020年8月29日に鬼ヶ面山の登山道沿いの調査を行った。しかし、両種ともに発見することができなかった。本種が福島県に分布するかどうかは、今後も調査が必要である。アラサトウヒレンは現在の所これらごく限られた2産地のみが知られるにすぎない絶滅危惧種であると考えられる。

なお Smirnov et al. (2018) はアラサトウヒレンをヤハズトウヒレンのシノニムとして扱っているが、本種は2産地目の標本も上述の特徴を基に明瞭に識別することができたため、別分類群とみなすのが適当と考えられる。

新潟市立総合教育センター植物資料室の皆様には、標本閲覧に際し便宜をありがとうございました。富山県中央植物園の皆様には、本報告をまとめるにあたり多くの有益なご助言を戴きました。この場を借りて深謝申し上げます。

Saussurea yanagitae Kadota in J. Jpn. Bot. 88:

271, figs. 3, 4 (2013).

Specimens examined: **JAPAN**. Honshu. Niigata Pref., Uonuma-shi, Yunotani, Mt. Arasawa-dake, Maegura, alt. 1165 m, 1 Sept. 2012. H. Yanagita, E. Yanagita, S. Mezaki & Y. Nedzu s.n. (TNS1168501–holotype; digital image!, TNS1168502–isotype; digital image!); Kitaunuma-gun, Yunotani-mura (currently Uonuma-shi), Mt. Arasawa-dake, Maegura, alt. 1230 m, 26 Aug. 1970. Y. Ikegami 104731 (Niigata City Herbarium 85613; 2 sheets!); *ibid.*, alt. 1390 m, 26 Aug. 1970. Y. Ikegami 104780 (Niigata City Herbarium 85614; 1 sheet!); Kitaunuma-gun, Irihiro-mura (currently Uonuma-shi), Rokujurigo, Mt. Onigatsura (upside), alt. 1380 m, 24 Aug. 1971. Y. Ikegami 112086 (Niigata City Herbarium 85610; 4 sheets!); *ibid.*, Y. Ikegami 112089 (Niigata City Herbarium 85621; 2 sheets!).

摘要

新潟市立総合教育センター植物資料室所蔵の標本調査により、アラサトウヒレン *Saussurea yanagitae* Kadota (キク科) が新潟県魚沼市と福島県只見町の境に位置する鬼ヶ面山に産することが判った。タイプ産地に次ぐ2か所目の産地である。現況調査のため、2020年8月29日に現地調査を行ったが、本種を見出すことはできなかった。